

関西健康・医療創生会議シンポジウム 地域の健康・医療と ライフコースデータ

出生から高齢期に至る様々な場面で記録される個人の健康診断やカルテ情報などのライフコースデータは、集積・分析し、自治体の政策、企業のビジネス展開などに活用されることで、地域における健康・医療分野の諸課題の解決に大きく貢献することが期待されています。こうした健康・医療データの活用により、医療や研究がどう変わるのか。先進的な政策や研究などの取組を通じ新たな可能性を探ります。

2020年

2月14日(金)

13:00~15:00

シンポジウム

15:00~16:30

国立循環器病研究センター見学会

(希望者のみ)

見学コースA 病院・リハビリテーション施設中心
見学コースB オープンイノベーション施設中心

会場

国立循環器病研究センター講堂 (エントランス棟3階)
(大阪府吹田市岸部新町6番1号)

定員

150名 参加無料

PROGRAM

※各講演の演題は変更する可能性があります。

開会挨拶 小川 久雄 国立循環器病研究センター 理事長

講演 座長 橋本 信夫 関西健康・医療創生会議 副議長

医療におけるライフタイムコースデータ、
日本のナショナルデータと地域医療データの潜在的可能性について
西村 邦宏 国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部 部長

次世代医療基盤を踏まえたEHRとPHRの連携
竹村 匡正 兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科 教授

医療データを用いた地域医療分析と政策への活用
小林 大介 神戸大学大学院医学研究科 医療システム学分野 医療経済・病院経営学部門 特命准教授

スマホ・アプリ「アスマイル」を活用した健康づくりプラットフォームの構築
領家 誠 大阪府健康医療部 健康推進室 室長

トピックス

なぜ「次世代医療基盤法」か
田中 謙一 内閣官房健康・医療戦略室 参事官

LDI: 事業者認定を受けての現状と今後の展開
吉原 博幸 一般社団法人ライフデーターニシアティブ 代表理事

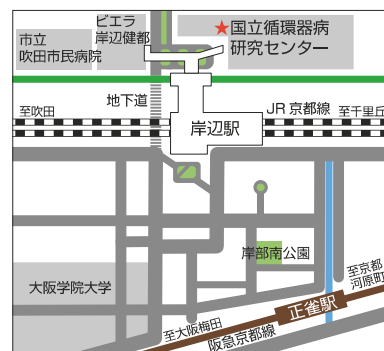
閉会挨拶 土屋 裕弘 関西健康・医療創生会議アドバイザー・ボード委員

参加登録

下記登録サイトからお申込ください。センター見学会ご参加の場合は希望見学コースを併せてご記入ください。各コース見学会希望者多数の場合は、定員になり次第締切ります。

<https://00m.in/1Mpq2>

会場アクセス



JR 京都線「岸部」駅より300m
(連絡通路で直結)
阪急京都線「正雀」駅より約 800m

ご来場には、公共交通機関をご利用ください。

お問合せ

関西健康・医療創生会議 事務局
TEL : 078-362-3335
MAIL : sousei@pref.hyogo.lg.jp

